※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１０

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究（前）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「日本史探究」（実教出版）						
副教材等	「新詳日本史」（浜島書店）　（仮）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史は単なる暗記ではありません。年号や用語を「理解」しながら「体系的」に覚えていくことが大切です。常にどうしてこんなことが起きたのか、その結果どうなったのかを考えていく習慣を身に着けてください。まず教科書を読みこみ、授業をしっかり聞きましょう。歴史は深い学問ですから、それでもわからないところがたくさん出てくると思います。そういう疑問を仲間や教員と共有し、一緒に解決していきましょう。

２　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

(1)　歴史的諸事象を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける【知識及び技能】

(2)　歴史的事象に関する諸問題について，多様な立場からの見方・考え方を理解したうえで，選択・判断の手掛かりとなる考え方や概念を活用し，史料に基づいて多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，史料を適切に用いて自らの考えを説明する力を身に着ける【思考力・判断力・表現力等】

(3)　歴史的諸課題についての多様な見方・考え方を公正に理解しようとする態度を培うとともに，よりよい社会の実現を視野に，日本社会における歴史的諸事象に関心を持ち，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める【学びに向かう力・人間性等】

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄および原始・古代から近代にいたる時代区分の特徴を、国際環境や生産関係と関連付けて総合的に理解している。また諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ることができる。	我が国の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境や生産関係と関連付けて多面的・多角的に考察している。かつ多様な意見を理解し、根拠に基づいてその価値を判断する知性を育んでいる。また史料を適切に活用して考察を深めるとともに、それを表現することができる。	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を持ち、意欲的に探究している。また国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての意識を持ち、意欲的に学習している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 2	原始・古代の日本と東アジア	一「日本文化のあけぼの」 1.　日本列島最古の文化 2.　縄文時代の社会と文化 3.　弥生時代の社会と文化 二「古代国家の確立」 1.　小国の分立と邪馬台国 2.　古墳の出現とヤマト政権の成立 3.　ヤマト政権の展開と統治の進展 4.　古墳時代の生活と文化 三「律令国家の形成」 1.　古代国家の形成 2.　飛鳥文化・白鳳文化 3.　律令制度 4.　奈良時代の政治 5.　天平文化 四「古代国家・社会の変容」 1.　律令体制再編期の政治と社会 2.　摂関政治の成立と支配体制の転換 3.　国風文化	a:　原始社会の特色をとらえ、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化を理解している。古代社会の特色をとらえ、古代国家の形成からその変容における政治・文化・経済・国際関係の特徴を理解している b:　原始・古代の人々の生活や社会、文化から課題を見いだし、自然環境や大陸からの文化の影響と関連付けて多面的・多角的に考察している。原始・古代の遺物や写真等の諸資料そして文献資料を活用することを通して、人々の生活について追究し考察した過程や結果を適切に表現している。 c:原始・古代の人々の生活や社会、文化に対する関心と課題意識を高め、追究している。古代国家の成立の画期について、主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	定期考査	定期考査 発問評価	提出課題 授業態度 小テスト
	中世の日本と世界	一「荘園公領制の成立と院制」 1.　院政と中世荘園 2.　奥州藤原氏と平氏	a:　中世社会の特色をとらえ、転換期における政治・文化・経済・国際関係の特徴を理解している。とくに荘園公領制と、武士の成立、中世的権力構造の特徴を理解している。 b:時代の転換に着目して、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。文献資料や絵画を適切に用いて、荘園公領制の特徴と、その中に暮らす中世	定期考査	定期考査 発問評価	提出課題 授業態度 小テスト

※令和４年度以降入学生用

3		二「中世の国家･社会の展開」 1.　鎌倉幕府の成立と朝廷 2.　中世に生きる人々 3.　蒙古襲来と幕府の衰退 4.　鎌倉文化	の人々の様子を表現することができる。 c:貴族政治の変容や武家政権の成立、当該期の世界との関わりについて、課題を主体的に探究しようとしている。古代から中世にかけての歴史の変化に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度